

ございます

年頭にあたり

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、町政推進にあたり、町民の皆様の温かいご支援、ご協力により、各般にわたる諸施策を円滑に推進することができましたことに心からお礼申し上げます。

私は、常々「思いやりのある現場主義」を掲げ、できる限り町民の立場に立ち、現場における「悲しみや痛み」に「寄り添い、親しみや誠意」を持って対応することを、職員ともども目指しております。そして、町長である私の役割は、町民の皆様の思いを汲み上げ、それを町政に反映することと考え、今後とも「活力あるまちづくり」に向け邁進してまいりたいと考えております。

さて、国内に目を向けますと、日本経済再生に向け大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を引き続き強力に推進するとしています。また、経済再生の進展を踏まえてリーマンショック後の危機対応モードから平時モードへの切り替えを進めていくとともに、「中期財政計画」に定められた方針に基づき、必要な地方の一般財源を確保するとしています。しかしながら、消費税率の引き上げは先送りされ、地方財政収支の仮試算には反映されず、国が最重要課題として位置付けている「地方創生」に関する具体的な施策等の内容は不透明であります。

地方財政全体が厳しい局面にある中、本町においても、この情勢の変化に俊敏に対応し、さらなる選択と集中のもと、効率的で質の高い行政運営に努めていかなければならないと考えております。

平成27年度は、「第6次総合計画後期基本計画」の最終年でございます。計画に掲げた「より安心・安全で活力のあるまち上三川」の実現に向け、諸施策を着実に推進してまいります。そして、次期総合計画「第7次総合計画」の中で、本町の伝統や文化を継承し、併せて多くの町民の知恵と能力を結集しながら、町の強みや利点を強く意識し、そこを伸ばすことにより、大きく発展させてまいりたいと考えております。

今年度事業でございますが「安心・安全」のまちづくりにおいては、防災行政無線整備事業と消防救急デジタル無線化整備事業として、平成28年5月末に、消防救急アナログ無線が廃止されるため、吹鳴装置のデジタル化と消防車両等デジタル受令機器の整備を行い、さらなる防災体制づくりの強化を図ってまいります。

「子育て支援の充実」では、安心して子育てできる環境づくりとして、本年4月から、医療機関受診時に保険診療した医療費分について、窓口での支払いが不要となる「子ども医療費現物支給」を中学3年生まで拡大し、子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。また、「子ども・子育て関連3法」の施行に合わせ、学童保育の対象を現行の小学校4年生から小学校6年生に拡大し、子育て家庭の負担軽減を図ってまいります。

「学校教育の充実」では、小中学校の校舎の大規模改修、並びに耐震補強工事が平成26年度で全て終了することから、上三川小学校屋内運動場の新築工事、明治小学校のプール改修工事、本郷中学校の給食配膳室の改修工事に着手します。

「健康づくり・医療体制の充実」では、毎年実施しているチャレンジデーに加え、健康増進のきっかけづくりとして、「健康マイレージ制度」の導入を予定しております。運動を習慣化させることで健康づくりにつなげるとともに、検診の受診率を上げ、病気の早期発見、早期治療、重病化を防ぐ効果を期待しています。

「協働・自立」においては、情報ネットワークの整備として、各種証明書（住民票の写し・印鑑証明書・所得証明書等）のコンビニ交付を平成28年3月から予定しております。

併せて、行政改革大綱（第4期）、集中改革プラン（第2期）計画及び「上三川町財政適正化計画（平成27～29年度）」に基づき事務事業の整理見直しや経常経費の縮減等に取り組み、将来を見据えた持続可能な財政運営の確立を目指してまいります。

今年は、町制施行60周年の節目を迎える年であります。これまで60年間の歴史を築いてきた先人たちの功績に感謝し、町民の皆様と共に、本町の更なる発展を誓い、輝かしい未来へ引き継いでまいります。

自治体を取り巻く環境は極めて厳しい状況ではありますが、引き続き、町民の皆様との対話を重視し、「輝き続ける上三川」とするため、職員一丸となって、町政に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成27年が町民の皆様にとって、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



上三川町長
星野光利

あけまして おめでとう



上三川町議会議長
稲見 敏夫

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新年を町民の皆さまとともに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

重ねて、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、昨年の我が国は、国の経済政策により一部の企業に業績の回復の兆しがみえはじめています。

しかし、円安の進行や4月の消費税率引き上げの影響で中小企業や多くの国民は景気回復を実感できずにいる状況です。雇用は改善傾向にあります。正規採用にはつながらず非正規労働者の割合は過去最高を更新し、厳しい雇用環境が続いています。また、持続可能な社会保障制度の構築や原発再稼働などのエネルギー政策等国の行方を左右する重要案件が山積し、先行きが不透明な情勢にあります。

このような中、地方自治体においては、地域振興、人口減少、災害対策、財政基盤の安定など克服すべき多くの課題を抱えており、本町においても例外ではありません。国政の変化を俊敏に捉え的確に対応していくことが求められ、自治体の果たすべき役割は大きくなってきています。

町議会では、執行部の監視及び評価をはじめ、議員自らが政策を提言することなど、議会機能の一層の充実・強化を図るため議会改革に取り組んでいます。さまざまな課題解決に向け、皆さまの声を町政に十分反映させるためにしっかりと議論を重ねるとともに、より身近な議会、より開かれた議会を念頭に置き、議会運営に粉骨砕身努力し、住民福祉の向上と地域の活力ある発展を目指していきます。

昭和30年4月29日、上三川町、本郷村、明治村が合併し人口約19,000人で誕生した本町は、今や人口31,000人を超える町に成長し、平成27年4月29日に町村合併60周年を迎えます。100周年、さらにその先も本町が発展を続け、住んで良かったと実感できるまちづくりに、議員一同全力を尽くす所存でございます。

結びに、皆さまにとりまして、本年が大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈り申しあげまして、新年の挨拶とさせていただきます。

